

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 5年 9月定例会	
議案番号 議案名	議案第 18 号 令和 5 年度松戸市病院事業会計補正予算（第 1 回）
議員名・会派名等	政策実現フォーラム・社民
賛否態度	反対
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	<p>病院事業会計補正予算は、今年度末に閉院となる東松戸病院の緩和ケア病床 20 床の機能を、市立総合医療センターが引き受けるための別棟建設計画に関わるものであり、この間の議会での議論を踏まえ、政策実現フォーラム・社民は立憲民主会派とともに以下の理由で賛成できない旨を訴え、反対討論を行いました。</p> <p>両会派を代表しての討論の内容を以下にご報告いたします。</p> <p>政策実現フォーラム・社民の工藤鈴子です。議案第18号令和5年度松戸市立病院事業会計補正予算第一回について、政策実現フォーラム社民、及び立憲民主党の両会派を代表して、本議案に反対の立場から討論を致します。</p> <p>この議案は、市立総合医療センター別棟建設事業について、その費用を22億3600万円から、25億6932万円へと増額を図るものです。内容は増額分3億9832万円、減額が約6500万円で、差し引き3億3332万円の増額となっているものです。なおこの補正の理由は増額理由が、二つ、減額理由が一つの計3点であり、以下、意見を申し述べます。</p> <p>まず、わかりやすいところで、計6500万円の減額についてですが、こちらは建設費抑制への取り組みによるものとのことで、病院側の努力に敬意を表するものであり、問題はないと考えます。</p> <p>次に、増額理由のひとつ目、建設費の高騰及び工期の延長に伴う増額 3億8332万円について、こちらは主にロシア・ウクライナ情勢、国内外の需要増加などによる物価上昇、労働者不足による労務費の上昇等の影響ということで、こちらと今回の増額幅約15%を見れば、現状では仕方のない範囲、許容範囲と判断、理解しており、こちらをもって反対ということではありません。</p> <p>もう一点の増額理由の二つ目、再生可能エネルギーの導入、1500</p>

万円の増額についてです。こちらは太陽光発電システム約 10kwを導入するためのものですが、蓄電池を入れることが審議で明らかになりましたが、これを差し引いても高いと言わざるを得ません。

このシステムによる想定発電量は年間 1000~1100kWですが、全量を自家消費に回してもその電気代削減額は年間 30~33 万円程度です。これでは 50 年近く稼働させなければ元が取れません。採算性に問題ありです！

しかし、この価格はあくまでも最初の見積もりであり、入札を通してシステム導入の価格が下がることが期待できること。また、公共施設への再生可能エネルギー施設の導入は会派としてこれまで何度も提案をしてきたことが、受け留められたということであり、これを考慮するとこちらも反対の理由とはなりえないものです。

ただし、ここで市としてお考えいただきたく、問題提起をさせていただきます。それは庁内等で情報の共有がきちんと図られているのか、ということです。

今議会でも議案第22号として相模台小学校の増築工事について委員会審議をされ、同じように 10kw の太陽光パネル設置予定聞いています。が、こちらの見込額は約 1100 万円と聞いています。1500 万円のなんとおおよそ 3 分の 2 の費用です。

また、令和 3 年 11 月にひがまつテラスに設置された 40kW のパネル設置費用は約 800 万円と聞いており、こちらと比較すると、1 キロワットあたりでいえばなんと 7 分の 1 程度です。

市の施設に今後も設置が続くと思われまますので、ぜひ庁内の情報共有をお願いします。

ではなぜ、反対をするのかという、核心部分について。審議の中でもお話しましたが、現在の総合医療センターの許可病床は 600 床であり、ここに東松戸閉院による緩和ケア病床 20 床を加えるのであれば本来は 620 床としなければならないはずですが。しかし病院はこれを否定します。私は途中からの参加ではありますが、両会派はこの 20 床を増やさない判断はおかしいとして、昨年この別棟建設の議案に反対をしました。

ここで改めて、増額に次ぐ増額となった、総合医療センター建設予算を最終的に議会で承認した際の、議会側から出した付帯決議に触れたいと思います。その中でもとりわけ皆様にお伝えしたいのが、『開業 3 年以内に 600 床稼働させ、稼働率 90% を達成させること』の部分です。私たち会派として、今回、620 床とせず 600 床のままというのを認めてしまうということは、この議会自ら付した付帯決議を自らが否定してしまうことになりませんか。

そして、今回、「昨年 6 月の審議から 1 年 3 か月たって、非稼働病床 44 床のうち、何床が改善できたのか」と、期待をもって伺いましたが、「改善ははかられていない。」との非常に残念なお答えでした。当初 135 億円の建設費見込が倍近くになってしまった総合医療センターの建設、多額の税金を使い、平成 29 年(2017 年)12 月 27 日開院以後まもなく丸 6 年たちますが、議会の付帯決議はいまだに守られず、かつ改善の見込も現状では感じられません。

コロナ禍があり、この面は考慮しなければなりません。当初、休床の理由として挙げられていたスタッフ不足については東松戸閉院による人事異動で改善が進むものと思います。

病院側には反省とともにより一層の努力を望みます。

それでは最後に、議員の皆様、とりわけ付帯決議にかかわった議員の皆様には、自ら付した付帯決議の重さをよくよくお考えいただき、本議案への反対をと強くお願い申し上げ、議案第 18 号の反対討論いたします。